

事業番号

2023 - 厚労 - 22 - 0850

令和5年度行政事業レビューシート				(厚生労働省)			
事業名	介護事業所における生産性向上推進事業			担当部局庁	老健局高齢者支援課	作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	高齢者支援課	課長 峰村 浩司	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-		
政策	基本目標X 高齢者ができる限り自立し、住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせる社会づくりを推進すること			主要経費	生活扶助等社会福祉費		
施策	介護保険制度の適切な運営を図るとともに、質・量両面にわたり介護サービス基盤の整備を図ること(基本目標X-1-4)						
政策体系・評価書URL	https://www.mhlw.go.jp/wp/seisaku/hvouka/d/r04_jizenbunseki/X1-1-4.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	介護事業所に対し、介護現場の生産性向上に関する取組の周知・広報により、全国の介護事業所への普及・定着促進を図ることで、介護職員の業務負担軽減や職場環境の改善につなげることを目的としている。						
現状・課題 (5行程度以内)	生産年齢人口が減少し、労働力の確保に向けた制約が強まる中、介護サービスの質を維持・向上させるため、介護現場において生産性向上の取組を推進することは重要である。これまで、厚生労働省では、現場の業務改善の手順や取組方法等を具体的に取りまとめた「介護サービス事業(施設サービス分)における生産性向上のガイドライン」を作成し、介護事業所へ生産性向上の取組の理解を広げるため全国で「セミナー事業」を行うとともに、自治体を中心とした業務改善や人材確保の取組である「パイロット事業」を行ってきたところであるが、一層取組を促進するためには、継続的に介護事業者に対して生産性向上の取組に係る理解促進・定着支援を図るとともに、自治体を中心とした地域としての取組体制の構築・促進を図る必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は、介護事業所の経営者層・介護従事者層の生産性向上の取組に関する知識・経験に応じたセミナーの開催・定着支援を行うとともに、地域における取組の推進に関する都道府県担当者等に対する説明会や地域における取組の推進方策に関する検討会を開催する。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	351	227	169	169	169
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	9.3	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	351	227	178.3	169	169
		執行額(G)	250	192	151	-	-
		(G)/(F)	71%	85%	85%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	71%	85%	89%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	(項)			「重要政策推進枠」169			
	(目)	要介護認定調査委託費	169	169			
		その他					
		計(A)	169	169			
活動内容① (アクティビティ)	介護事業所(法人)に対して、生産性向上に資するガイドラインの取組内容等に関するセミナーを開催する。						
↓							

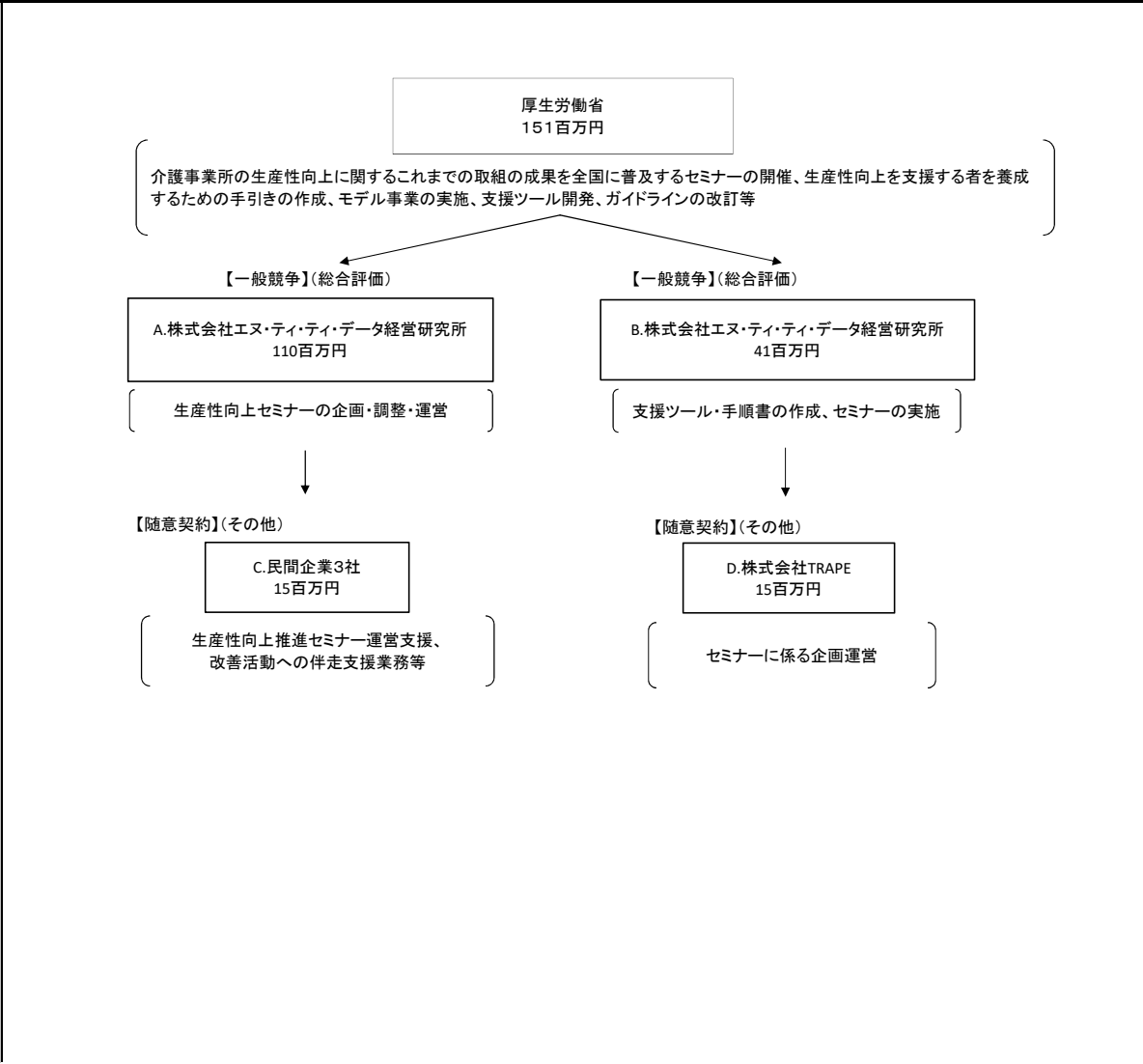
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		生産性向上ガイドラインに基づき業務効率化に取り組む事業所数を増やすため、セミナーを開催する。	セミナー参加事業所(法人)数		箇所	209	216	487	-	-
				活動実績	箇所	200	200	150	271	-
				当初見込み	箇所					
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業は、生産性向上に資するガイドラインの取組内容等に関するセミナーの開催を通じ、介護現場における生産性向上を図るものであることを踏まえ、以下の成果目標を設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
		業務効率化に取り組む施設数を増やす	「介護サービス事業(施設サービス分)における生産性向上に資するガイドライン」を活用して業務効率化を図った事業所(法人)数		箇所	65	116	229	-	
				成果実績	箇所	50	60	120	230	
				目標値	箇所	130	193.3	190.8	-	
		達成度	%							
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		介護現場(施設サービス分)の生産性向上に関する全国セミナー事業								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		「介護サービス事業(施設サービス分)における生産性向上に資するガイドライン」を活用して業務効率化を図った事業所(法人)数を確認することはできるが、業務効率化により当該システム利用後の短縮時間など、具体的にどれくらい業務効率化が図られるかを示すことは困難であるため、「介護サービス事業(施設サービス分)における生産性向上に資するガイドライン」を活用して業務効率化を図った事業所(法人)数を長期アウトカムとしている。								
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等		名称	-							
		URL	-							
		該当箇所	-							
事業所管部局による点検・改善										
点検結果		介護事業所における生産性向上推進事業:令和3年度においては、全国21箇所において、生産性向上ガイドラインの取組内容に関して経営者層・介護従事者層それぞれの職種の役割に応じたセミナーを開催した。令和4年度においては、同セミナーを全国21箇所を実施した他、令和4年度に参加した施設・事業所等を対象としたフォローアップセミナーを全国6箇所で開催し、効果的な生産性向上の取組を推進した。						目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)		
								-		
改善の 方向性		令和5年度においては、継続してセミナーを開催する他、自治体を中心とした地域としての取組体制の構築・促進を図るため、都道府県担当者等への説明会や検討会を実施する。								
外部有識者の所見										
点検対象外										
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見										
現状通り	介護職員の業務負担軽減や職場環境の改善のために必要な事業であり、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
現状通り	-									
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ										
-										
上記への対応状況										
-										
過去に受けた指摘事項 と対応状況										
-										

その他の指摘事項	
上記への対応状況	

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号									
平成23年度									
平成24年度									
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									
平成28年度									
平成29年度									
平成30年度	807								
令和元年度	厚生労働省			0818					
令和2年度	厚生労働省			0838					
令和3年度	2021	厚労	20	0914	00				
令和4年度	2022	厚労	21	0197	00				

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について 記載する。費目と用途の 双方で実情が分かるように 記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	シニアマネージャー、コンサルタント	64	人件費	シニアマネージャー、コンサルタント	20
	委託料	HP構築(医療ネットワーク支援センター)、効果測定ツール 改修費(eSURVEY)、フォーラム運営業務(日刊工業新聞)	15	委託料	セミナーに係る企画運営(株式会社TRAPE)	15
	賃借料	フォーラム開催に係る会場	14	一般管理費	一般管理費	3
	一般管理費	一般管理費	10	謝金	セミナー等に係る講師謝金	3
	印刷製本費	冊子に係る印刷代	3			
	謝金	フォーラムに係る講師謝金	2			
	旅費	フォーラムに係る旅費	2			
	計		110	計		41
	C.			D.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	フォーラムの運営	10	人件費	生産性向上セミナーの企画、講師派遣等	15
	計		10	計		15
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						
				チェック		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エヌ・ティ・ ティ・データ経営研究所	1010001143390	生産性向上セミナーの調整 等	110	一般競争契約 (総合評価)	2	50%	-

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エヌ・ティ・ ティ・データ経営研究所	1010001143390	生産性向上セミナーの調整 等	41	一般競争契約 (総合評価)	2	50%	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日刊工業新聞社	4010001025355	フォーラム運営の支援	10	随意契約(その 他)	-	-	
2	特定非営利活動法人医療 ネットワーク支援センター	2013405000693	ホームページの構築等	4	随意契約(その 他)	-	-	
3	株式会社eSURVEY	2010601048658	効果測定ツールの改修	1	随意契約(その 他)	-	-	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社TRAPE	1120001193433	生産性向上セミナーの企画運 営	15	随意契約(その 他)	-	-	